

明高だより

美術科展

兵庫県立美術館で第三十六回美術科展を開催しました。

一年生は油彩画と平面構成、二・三年生は油彩画、日本画、彫刻、ビジュアルデザイン、クラフトデザイン、水彩画、映像表現等の中から専門分野の作品を制作して展示しました。特に三年生は三年間の学びの集大成として、卒業制作作品を披露しました。そこからは卓越した技能と作品にかける思いが強く感じられました。

今回、新型コロナウイルス感染防止のため受付での接触を減らし、作品の説明に動画を準備しました。作品の一部は、他所で貸出展示されたほか、県立歴史博物館のポスター原画としても採用されました。



課題研究指導

本校では今年度より、ひょうごスーパースクールの研究指定を受け、理数探究類型生徒が今年度より大学企業等と連携して課題研究に取り組んでいます。



一年間かけて取り組んできた研究成果を発表する「課題研究発表会」でのプレゼンを控え、大塚教授からウェブでの指導・助言をいただきました。

大阪大学全学教育推進機構の山口和也教授からは研究内容とパワーポイントの作成等について、神戸大学発達科学部人間環境学研究所の伊藤真之教授からは研究内容と発表方法等について、それぞれ具体的に発表に向けたご指摘を受けました。

明石市荷山町 1744
TEL(078)911-4376

高大連携推進授業

大学で行われている最先端研究に触れることにより学問・研究への興味・関心を喚起し、大学進学への意欲向上を図ることを目的に、一年理数探究類型生徒を対象とした大学教授による出張講義を一月二十九日(金)に実施しました。

今回は、京都教育大学の大竹博巳教授から「算額 江戸時代の数学」という内容で講義をしていただきました。講義の中では、グループに分かれて江戸時代に奉納された問題にチャレンジしました。



一見難しそうなお問題にも、着目点をシンプルにすることで容易に解けることが分かり、新たな気づきがありました。また、江戸時代における日本の数学力のレベルの高さに驚かされるとともに、グローバルな視点の重要性にも気づかされ、非常に有意義な講義となりました。

サイエンスフェア



「高め合おう科学の力、響かせようこれからの未来へ」をテーマに、第十回サイエンスフェア in 兵庫が開催され、本校理数探究類型生徒が参加しました。

新型コロナウイルス感染拡大を受けてウェブ開催となりました。①高校生・高専生による発表、②大学・企業・研究機関等による発表、③若手研究者による発表、④大学生・大学院生による高校生との交流という四つの柱でしたが、高校・高専・企業・大学・研究機関等が相互に情報交換し、科学技術力の向上を形成する貴重な機会となりました。また、質疑応答を通して自身の研究に対する理解をさらに深めることができました。本校生は動画視聴で参加しましたが、若手研究者や他校の発表から大変刺激を受けました。



共通テスト激励会

従来の大学入試センター試験に代わり、今年度より大学入学共通テストが始まりました。単なる知識の暗記にとどまらず、それを活かした思考力や判断力を問う問題を出題する、これが新テストの基本方針です。

本校では、国立・公立大学への進学を目指す生徒を中心に多数受験しましたが、その激励会を実施しました。最初に校長が、不安や緊張を取り除く呼吸法を伝えた後、マインド・セット、「できる」という自信と確信を心に刻み頑張ってもらいたいと激励しました。続いて進路指導部長、学年主任も受験上の注意とともに激励の言葉を贈りました。



明石高校ホームページ



[明石高校]で検索
<http://www.hyogo-c.ed.jp/~akashi-hs/>
活動の内容は兵庫県立明石高等学校ホームページでご覧いただけます